

道路付属物点検



株式会社 山中測量設計事務所

役割と重要性

落下・倒壊事故を防ぐための安全確保。

損傷の早期発見と予防保全。

補修計画・更新計画の根拠資料を作るため。

施設の長寿命化（LCC低減）につなげるため。

道路付属物点検とは（株式会社 山中測量設計事務所）

道路の安全を確保するため、道路に付随する設備（照明柱・標識・防護柵・排水施設など）の損傷・劣化を確認する点検作業です。国交省の「道路構造物点検要領」に基づき、定期的な近接目視点検が求められています。

当社 株式会社 山中測量設計事務所 では、

近接目視点検（基本）、点検車や脚立を使用し、手の届く距離で確認、打音検査 は内部の浮き・剥離を確認、測量機器による変位確認はポールの傾き・位置変化をTSやGNSSで測定、ドローン点検（補助）は高所や狭隘部の撮影に活用（近接の代替には不可）。

点検結果の評価（4段階）

- ・ 損傷図・調書の作成により
- ・ I：健全
- ・ II：予防保全段階（軽微な損傷）
- ・ III：早期措置段階（補修が必要）
- ・ IV：緊急措置段階（重大損傷）